

## 第13回 移動容器規格委員会 議事録

I. 日 時：平成22年5月13日（木）15：00～16：00

II. 場 所：高圧ガス保安協会 第4会議室

III. 出席者（敬称略・順不同）

委員長：小川

副委員長：吉川

委員：石崎、石田、川原、菊池、小泉、堀、藪田、宮崎

K H K：鈴木（好）、竹花、橋本、鳥越、鈴木（利）、草野、

陪席者：長村（経済産業省）、植木（株本田技術研究所）、榊田（日産自動車株）、  
福本（(財)日本自動車研究所）、山本（トヨタ自動車株）

IV. 議事次第

(1) 前回議事録(案)の確認・承認

(2) 技術基準整備3ヶ年計画（平成22～24年度）(案) について

(3) 70MPa圧縮水素自動車燃料装置用容器の技術基準(仮称)の制定について

(4) 高圧ガスタンクローリ再検査基準KHKS0150（2007）の見直しについて

(5) その他

V. 配付資料

資料13-1 第12回移動容器規格委員会議事録（案）

資料13-2 技術基準整備3ヶ年計画（平成22～24年度）(案)

資料13-3 70MPa圧縮水素自動車燃料装置用容器の技術基準(案)

資料13-4 高圧ガスタンクローリ再検査基準KHKS0150（2007）の見直しについて

参考資料1 低充てんサイクル自動車の適用範囲の変更について

参考資料2 高圧ガスタンクローリ再検査基準KHKS0150（2007）

VI. 議事概要

1. 事務局挨拶等

開会挨拶の後、事務局が以下の紹介等を行った。

① 欠席委員（阿部委員、大谷委員、北野委員、児玉委員、農頭委員）の報告

② 本日の委員会は陪席者5名が参加

③ 10名の出席があり、規格委員会規程に定める定足数を満足し、委員会は成立

## 2. 前回議事の確認

資料13-1に基づき「第12回移動容器規格委員会議事録（案）」の採決を実施した。出席委員の過半数（6名）以上の賛成（満場一致）により可決された。

## 3. 技術基準整備3ヶ年計画（平成22～24年度）（案） について

事務局が、資料13-2に基づき平成22年度から24年度における移動容器規格委員会の技術基準整備計画について説明した。当該計画（案）の採決を実施し、出席委員の過半数（6名）以上の賛成（満場一致）により可決された。

## 4. 70MPa圧縮水素自動車燃料装置用容器の技術基準（仮称）の制定について

(1) 資料13-3及び参考資料1に基づき「70MPa圧縮水素自動車燃料装置用容器の技術基準（仮称）の制定案」について主に変更点に関して説明を行った。質疑事項は以下のとおり。

① 低充てんサイクル自動車の適用範囲を縮小した経緯として、説明するデータが不足したのか。

→ 当該データは十分な母数を有したものの自家用と事業用に区別することが困難であり、適用範囲を自家用乗用自動車に限定しても90%程度の車両を包含出来ることから、自工会の了解のもと、適用範囲を変更することとした。

② 当初案で対象としていた車両台数割合はどのくらいか。

→ 当初案では、97%程度の車両を包含していた。

③ 廃車時の走行距離データは陸運局のものを利用したのか。

→ データはディーラーのものを利用した。

(2) (1)を踏まえた制定案について書面投票を行うこと及び当該書面投票の実施期間並びにパブリックコメントの実施期間について以下の付帯条件を付して採決を実施したところ、出席委員の過半数（6名）以上の賛成（満場一致）により可決された。

付帯条件；書面投票等で編集上の修正が必要となった場合は、メールにて審議を行い書面投票（15日間）を実施する。委員会を開催するかの判断は委員長に一任する。

## 5. 高圧ガスタンクローリ再検査基準KHKS0150（2007）の見直しについて

(1) 事務局が、資料13-4に基づき、高圧ガスタンクローリ再検査基準KHKS0150（2007）の見直し方針について、事務局案として確認としたい旨を説明した。質疑事項は以下のとおり。

① タンクローリの総重量の拡大（大型化）に伴う防波板の脱落など事故例が指摘された。

→ 当該規格は、自主基準であり、本件については対応できないため、別途内容を確認することとした。

(2) (1)を踏まえ、今回の見直しを確認とすることについて書面投票を行うこと及び当該書面投票の実施期間について付帯条件を付して採決を実施したところ、出席委員の過半数（6名）以上の賛成（満場一致）により可決された。

付帯条件；書面投票でコメントがあった場合であって、コメントの内容が軽微なものである場合は、対応をメールで行うこととする。委員会を開催するかの判断は委員長に一任する。

## 6. その他

- (1) KHKS0102、KHKS0121及びKHKS012の現在の状況について報告した。
- (2) KHKS0102、KHKS0121及び70MPa新基準については、制定後に規格検討委員会において、例示基準化のための審査を受ける予定であることを報告した。
- (3) 次回委員会の開催日は未定のため、開催する場合は別途調整を行う。
- (4) 堀委員より退任の挨拶があった。

以上